

TOPPAN



c(A(BL(e)C)A)S)T

2019年3月11日

凸版印刷株式会社

株式会社ブロードバンドタワー

ジャパンケーブルキャスト株式会社

凸版印刷とブロードバンドタワーとジャパンケーブルキャスト、 ヒーリングの効果が期待される 4K 映像を家庭に配信

自然風景などの超高精細・高品質 4K 映像を家庭のテレビへ配信する、新サービスの実証を開始

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)と、株式会社ブロードバンドタワー(本社:東京都千代田区、代表取締役会長兼社長 CEO:藤原洋、以下 ブロードバンドタワー)及び、ブロードバンドタワーの連結子会社であるジャパンケーブルキャスト株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:大熊茂隆、以下 ケーブルキャスト)は、超高精細・高品質 4K 映像によるヒーリング効果や集中力の向上が期待できる、新たな映像配信サービスの提供に向けて、実証実験を 2019 年 3 月 11 日より実施します。

凸版印刷が 2015 年より提供しているオリジナル高品質 4K 映像コンテンツと、ブロードバンドタワーの 5G に対応したデータセンターを核とする幅広い IT 技術、並びにケーブルキャストの有する全国規模の情報配信ネットワークを活かした日本全国のケーブルテレビ局へのリーチ力を組み合わせ、超高精細・高品質 4K 映像を家庭用 4K 対応テレビへ配信するサービスの提供を目指します。3 社は本実証にあたって、ケーブルテレビコミュニティチャンネルの 4K ハイブリッドキャスト(※1)上でのビデオ・オン・デマンド配信を想定し、検証を実施します。



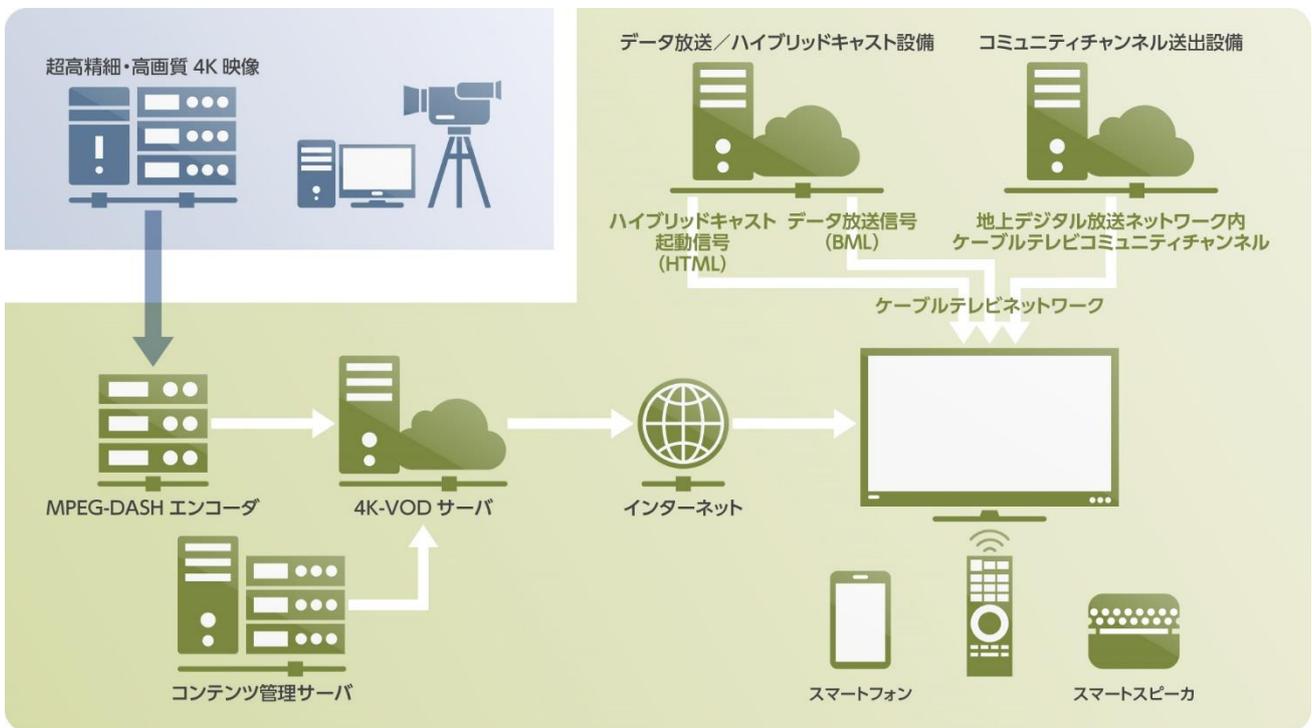
本サービス使用時の空間イメージ

■背景

昨今、空間のデザイン要素に「人間の健康」という視点を加え、自然環境を取り入れたバイオフィリックデザイン(※2)や、WELL 認証(※3)といった建物の住環境を評価するシステムなどが、世界的な広がりを見せています。また、2020年開催予定の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、2018年12月より新4K8K衛星放送が開始されました。これにより今後、4K対応テレビの普及が見込まれると同時に4Kコンテンツの活用ニーズも高まることが期待されています。

このようなトレンドを受け、3社は、凸版印刷オリジナルの超高精細・高品質の風景映像など、ヒーリング効果の期待される4K映像を家庭用4K対応テレビ向けに配信するサービスの提供を目的に、実証実験を開始いたします。本実証を通じ、一般的な放送番組視聴とは異なり、テレビ画面が空間に溶け込むインテリア性や自然風景の再現による、住環境の質を向上させるサービスの提供を目指します。

また超高精細・高品質4K映像は、データ容量も従来に比べ格段に増大します。本実証実験を機に、ケーブルキャストはケーブルテレビ向け4K配信プラットフォームとして、ブロードバンドタワーは新データセンターの利活用の検討を含め超高精細・高品質4K映像配信を支援していきます。



ケーブルテレビハイブリッドキャストを利用した場合のシステムイメージ

■本サービスの特長

・高いヒーリング効果のあるトッパンオリジナル超高精細・高品質4K映像が家庭の4K対応テレビで視聴可能
心拍変動解析などによる効果検証の結果、超高精細・高品質4K映像コンテンツは、ただ休息する場合に比べ、迅速にストレスを軽減させる効果があることが「Natural Window」(※4)で確認されており、本サービスでも休息効果の向上や家事などの作業効率向上といった効果が期待できます。

・多様で充実したコンテンツ

5万ショットを超える多彩で豊富なトッパンオリジナル超高精細・高品質4K映像コンテンツを配信予定です。時間帯や季節との連動を可能にする充実したコンテンツ群を、生活者のニーズに合わせて配信することで、よりリアルな空間演出を目指します。

・ハイブリッドキャストによる配信で、スマートフォンやスマートスピーカーとの連携が可能

市販のハイブリッドキャスト対応 4K テレビで視聴可能なビデオ・オン・デマンド型のサービスを予定しています。また、スマートフォンからの視聴操作やスマートスピーカーによる起動など、様々なデジタルデバイスと連携したサービス展開も可能です。

■今後の目標

今後 3 社は、サービスのブラッシュアップ並びに各種効果検証やケーブルテレビ事業者と連携した 4K 映像配信手法、サービス提供手法等について開発・調整を進め、2019 年度中のサービス開始を目指します。

■実証実験の概要

1. 実施期間

2019 年 3 月 11 日(月)より 6 か月程度

2. 実施場所

ケーブルキャスト本社内実証実験環境及び協力ケーブルテレビ事業者の環境

3. 目的

- ・ 映像品質、視聴動作確認
- ・ 通信品質、視聴安定度確認
- ・ その他モニター調査等

4. 各社の役割

① 凸版印刷

オリジナル超高精細・高品質 4K 映像の提供・制作、および超高精細・高品質 4K 映像品質の監修

② ブロードバンドタワー

配信サーバ等構築のためのデータセンター環境、クラウド環境の利活用の検討、5G を含むコンテンツデリバリーネットワーク設計等の検討

③ ケーブルキャスト

配信サーバ等構築、データ放送・ハイブリッドキャスト設備、ケーブルテレビコミュニティチャンネル環境構築、デモ用 UI 作成等一連の実証環境整備

※1:ハイブリッドキャストとは、放送波の中にインターネット上のコンテンツの取得を指示する制御信号を組み込み、テレビ放送と、HTML5 で記述された Web コンテンツとの融合を可能にする次世代放送サービスです。スマートフォンやタブレット端末との連携も可能です。また、ハイブリッドキャスト は日本放送協会の登録商標です。

※2:1984 年にエドワード・O.ウィルソンが「バイオフィリア」を提唱しました。これは人と自然の本質的な関係を説明するとともに、人は自然とのつながりを求める本能的欲求があり、自然と触れ合うことで、健康や幸せを得られるという概念です。バイオフィリック・デザインとは、自然を感じられる環境を、建築やインテリアで再現する取り組みです。

※3:「WELL Building Standard™」(WELL 認証)とは、空間のデザイン・構築・運用に「人間の健康」という視点を加え、より良い住環境の創造を目指した評価システムです。WELL 認証は IWBI(International WELL Building Institute)が運営し、実際の認証業務は GBCI (Green Business Certification Inc.)が行います。

※4:「Natural Window」は凸版印刷が 2017 年 3 月より提供している超高精細・高品質 4K 映像コンテンツを活用した超臨場感環境ソリューションです。心拍変動解析などによる効果検証の結果「Natural Window」はただ休息する場合に比べ、ストレスを軽減させる効果があることが確認されています。

以 上